

## 第3回キャリア教育研究部研修会 報告書

### 1 授業実践

日本の工業生産の特色や課題を踏まえた、工業生産に関わる人々の工夫や努力について学習をした。さらに、工業分野のまとめとして、学習したことをもとにこれからの工業生産の発展について考える活動を行った。

単元名 5年生 社会科「これからの工業生産」  
どうなる 工業？  
授業者 広沢小 中根寛人教諭

<本単元で育成を目指す基礎的・汎用的能力>

#### ◎課題対応能力

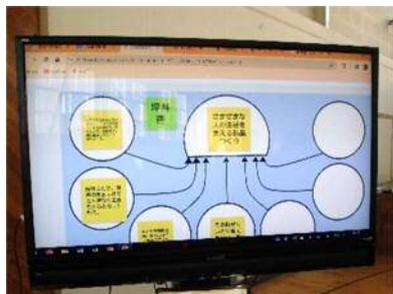
工業の現状や課題を踏まえ、今後の工業の発展のために取り組みそうなことを考えることを通して、課題発見や情報の理解・選択・処理ができる。

<学習計画>

- ①日本の工業の特色や課題に関する資料を読み取り、学習問題をつくる。
- ②伝統を生かした工業生産のよさに着目し、高い技術力によって品質のよい製品が製造されることを理解する。
- ③優れた技術に着目し、産業用ロボットを活用したり、新しい分野に挑戦する研究開発がされたりしていることを理解する。
- ④環境に配慮した製品を製造する人の思いに着目し、持続可能な開発を行おうと工業生産に携わっていることを捉えることができる。
- ⑤ユニバーサルデザインが取り入れられた製品を調べ、消費者の要望に応じた製品を製造するための工夫や努力をまとめる。
- ⑥工業の現状や社会にみられる課題を踏まえ、これからの工業生産に大切な取り組みを選択し、その理由をまとめる。
- ⑦よりよい社会の実現のために工業生産にとって最も大切だと思う取り組みについて話し合う。

<手立て>

- ・自分の考えを明らかにするための ICT の活用
- ・互いの考えを深めるためのミーティングボードの活用
- ・子供の振り返りの内容に応じた子供の学びを価値付ける教師の言葉



### 2 事後研修会

以下の参観の視点に沿ってグループ協議を行った。

～グループ協議より～

#### ①課題対応能力の育成①課題対応能力の育成

自分の考えを、ICT を活用したシートやノートに表現したり、友達と話し合っ  
て考えを深めたりしている姿について

### 【①の参考点】

- ・学習してきたことがつながっていて、子供たちが単元を通して考えられている。
- ・自分事としてよく考えられていたのは ICT の活用の成果だと感じた。
- ・ミーティングボードを使っていたことで、話し合いが盛り上がっていた。

### 【①の改善点】

- ・話し合いで考えを深めることができていたが、まとめるための時間が必要だと思う。
- ・内容が盛りだくさんだった。2時間構成でもよかった。

## ②振り返りと学びを未来につなぐ一言

本時や単元を通しての振り返りと子供の学びを価値付ける教師の姿について

### 【②の参考点】

- ・振り返りが今までの学習とつながっている。
- ・子供に落ちる話でとても良かった。社会科の内容をきちんと踏まえていた。
- ・単元で学習したことを写真で振り返ることは、視覚的に分かりやすかった。

### 【②の改善点】

- ・社会科としてのまとめが必要だったのではないか。
- ・振り返りをするための時間の確保が必要だと感じた。
- ・まとめは社会科、振り返りはキャリアというように区別できるとさらによい。

～グループの感想より～

- ・「知識」を身に付けた先の力を求めていることが分かりました。学校での学習を通して、子供たちが汎用的な力を付けていると強く思います。キャリア教育の目指す姿が体现されていました。



## 3 指導講評

笠井小学校の伊藤美香校長先生より指導講評をいただいた。

社会科とキャリア教育のつながりが明確になっていた。キャリア教育が展開される授業を実践するためには、キャリア教育で育てたい力を自覚していることや学び簿見通しをもつことが大切である。そのためにも、キャリア教育の年間指導計画は重要であり、子供とキャリア教育をどう共有していくかが求められる。